

未来のつばさ

INDEX

P.2 2015年度 自立奨学支援申請の選考を振り返って
公益財団法人 楽天 未来のつばさ 理事長 野口修作

「未来に向かって、輝け!」
スカイライトコンサルティング株式会社 代表取締役 羽物俊樹

P.4 ご支援ありがとうございました!
子ども達からの感謝のメッセージ 進学・就職ランキング!

P.6 支援先団体から報告が届きました!
~未来のつばさ 団体向け支援事業~

P.8 寄付のお願い

Vol. 22
2016.6

本財団の主管事業である自立奨学支援事業も本年度で5年目を迎えました。財団創設より社会的養護環境下の子ども達が18歳を迎える、就職・進学を通しての巣立ちに際し、生活支度金を支援する制度を続けて参りました。多くの賛同者・寄付者の皆様の温かいご支援で、通算1000名を超える子ども達へ応援のメッセージと共に支援金を提供いたしました。

本年度も600名を超える応募者達からの支援申請を受け付けました。今年度初めて申請のあった施設また福祉系・医療系の施設からの応募もみられました。本制度は就職予定者、また進学予定者を問わずに支援する数少ない支援制度です。その割合は就職者56%に対し、進学者44%の割合で、全体数から見ますと進学者の割合が実数と比べて高いのが、近年の特徴です。

これらの応募申請を昨年11月から選考委員会で選任された審査員による厳正な審査が始められました。審査員は3チームからなり各チームのメンバーが審査を行い、3人の平均点を評価点にいたします。審査は主に「申請者へのご質問」と「作文」内容から①当制度の理解度、②将来の計画性、③価値観と倫理観、④自己形成力、⑤自立性、⑥自己分析と表現力などの要素を評価点に換算し順位をつけました。この結果、就職者は上位156名、進学者は102名を選出し支援決定者といたしました。全体では応募者数の42%が支援対象となりました。

選考委員・審査員メンバーからいつも出る意見は、60%近くの子ども達が選考から落ちる、もっと多くの子ども達へ支援できないか、評価点で落とすのはあまりにも忍びない、特殊事情のこの子は特に救えないものか、また、不合格通知を受け取った保護者からは申請した子ども達は夜遅くまで申請書を頑張って作り、学校生活も眞面目で小さな子ども達への面倒見も良く、なぜこの子が落ちたのかとの叱りの電話もありました。

当事業の財源は支援企業、支援企業のユーザー、社員、代理店、また事業に賛同される一般の方々からの貴重なる寄付金で賄っております。支援本予算は150名で、これに特



別予算100名、障がい者枠と書き損じはがき寄付枠8名合計で258名が昨年度の支援予算でありました。財団事業の執行部では今以上の事業賛同者を増やすべく事業の紹介また寄付金のお願いを機会のあるごとに広報宣伝し、一人でも多くの子ども達への資金を確保すべく努力いたしておりますが、自分たちの力がいかに微力であるかに気づかされる時期もあります。

一方5月の連休も開けたこの時期、本年度の支援者の子ども達から支援金受領の通知と共に感謝の手紙が参ります。

「希望する大学の入試は不合格となり、進学も出来ず就職もままならない状況の中、楽天未来のつばさ自立奨学支援の決定通知をいたしました。そのお陰で、自分の中で勝手に皆が応援してくれていると鼓舞し、あきらめずにもう少し自分の夢を追い掛けようと専門学校への進学を決意しました。いつか人に感動を与えられる俳優になって、社会に役立てるように頑張ります」

また、児童養護施設の指導員の方からは、「18歳で施設を出て親の援助なく社会で自立していく現状は大変厳しいもののがございます。ましてや大学等に進学する場合は生活費に加え学費も必要となりますので経済的にはなおさら大変とも言えます。未来ある児童の自立をこのようないい奨学資金を通じてご支援いたることは大変ありがたいことですし、児童にとっても私たち職員にとっても大変大きな励みとなります」

この様な感謝の手紙が続々と届いております。事業は必要性があってこそ、またその効果が発揮できてこそが、重要な役割です。本年度多くの賛同者のご支援により、従来の支援予算が確保されました。条件対象者が在園される施設、また里親の皆様是非とも応募をご検討ください。

最後になりますが、自立奨学支援事業の実行に財源をご寄付いただきました、多くの皆様また選考委員、審査員にボランティアとしてご協力いただきました皆様に厚く感謝申し上げます。

2016年5月
公益財団法人 楽天 未来のつばさ
理事長 野口 修作

◆審査員から

◆未来に向かって、輝け!

選考に携わる機会を得ることができ、ありがとうございました。感じたことは三つあります。

第一に、置かれてきた厳しい環境・状況にも負けずに、どの子ども達も夢を抱いて頑張っていることへの感銘です。決して物質的にも金銭的にも恵まれていない環境でも、頑張っている姿には涙を禁じ得ません。

第二に、そういう子ども達の書類を採点し「選考」してしまっている自分の無力さです。全員を支援することはできず、どこかに線をひかなければならないことは承知しています。承知の上で、選考を引き受けたのですから。それでも、もっと支援できないものなのか、他に何とかならないものなのか、やるせない気持ちになります。

第三に、とはいって、わずかかもしれない支援を手にした子ども達も、残念ながら支援対象とはならなかった子ども達も、未来に向かって頑張ってくれるだろうという希望です。物で満ち溢れても、心が満ちていなければ

人は幸せではありません。夢を持って一所懸命に生きる。未来に向かって希望を持って生きていく。無心に頑張ることが、実は心が満ちた状態で、幸せなのだという事に、改めて気づかされました。

選考という過程で、自分も大いに勉強させていただくことができて、感謝しています。皆さまが未来に向かって、一層、輝かれる事を期待しています。



スカイライト
コンサルティング株式会社
代表取締役 羽物 俊樹



◆楽天生命保険株式会社 ボランティア審査員から

子ども達の作文ももちろんですが、先生たちの書かれた書類がとても印象に残りました。

サンタプロジェクト等で子ども達や先生とお話しすることはあっても、その子たちが置かれた厳しい状況や、具体的な背景を文章で目にすると、改めて考えさせられるものがありました。

機会があれば、他のスタッフにもぜひ経験してほしいと思いました。

若い時にさまざまなご苦労をされている方々が、ご自身の将来について誰よりも真剣に考えていらっしゃることに胸を打たれました。本当に立派だと思いました。

特に、ご自身の夢を追いかけ、そのための具体的な生活設計について詳細に書かれている方の申請書は、私自身の生き方について振り返るよいきっかけとなりました。ありがとうございました。

今回申請された方々が、幸せに人生を送られることを心より願っています。

さまざまな境遇の中、感じ方が人によって全然違うものだと感じました。

厳しい環境にいる子ども達を支えられるような社会を作るのも、私たち大人の役目だと思います。



支援先団体から 報告が届きました!

～未来のつばさ 団体向け支援事業～

2015年度支援の一部の活動報告書をご紹介いたします。



作文集「しあわせな明日を信じて3」の 6年後のたよりの追跡調査(続々編)

乳児院・児童養護施設の子どもたち～子どもたちの声を“かたち”に～

2015年4月4日に発行を決定し、2016年3月10日に作文集が完成しました。3月20日以降、希望施設等へ作文集を郵送配布しました。いただいた支援金は、作文集発行費用、作文集郵送代、出版記念講演会チラシ費用に充てました。配布しました施設からは色々と励ましや参考にしたいとのメールやファックスが届いています。作文集を一部マスコミ関係にも配布させていただきました。作文集に関わって講演の依頼もきています。意外と社会的養護等で生活している子ども達のことを知らない人が多いことを改めて認識しました。この作文集を通して広めていきたいと思っています。

特定非営利活動法人 こどもサポートネットあいち



◆「特定非営利活動法人 こどもサポートネットあいち」の取り組み ◆

年間を通して取り組まれている一般児童と社会的養護等施設児童との交流事業



クリスマス会



福井県若狭サマーキャンプ



長野県駒ヶ岳登山



長野県きそふくしまスキー

私たちは子どもの成長・発達の原点に立ち返り、自分のまわりにいる仲間と同じ興味・課題に取り組み共有された世界が芽生えてくる過程の中で、相手への信頼が求められると考えています。どのような境遇にある親子でも孤立することがない地域社会を目指します。



ふじ虹の会 IFCAセミナー

2016年3月21日土曜日、富士市において、アメリカシアトルにあるNPO法人「International Foster Care Alliance (IFCA)」のソーシャルワーカーや当事者、日本の当事者の若者たちを招き、ふじ虹の会IFCAセミナー2016を開催しました。

参加者数はおよそ70人(スタッフ、関係者除く)で、県内だけでなく県外からの積極的な参加がありました。

IFCAの理事の方々による講演を行い、また、当事者ユースらによるパネルディスカッションは、社会的養護下にいる子どもの現実を社会に伝え、当事者しか知りえない事実や気持ちを市民に発信する機会となりました。

来場者からは、「知らないことばかりだったが、何かしなければいけない」「私たちにできることを考えていきたい」などの感想をいただきました。

ふじ虹の会



心理的な課題を持つ子どもに対する支援の充実

2016年3月11日、以前の事務所(富士市大渕)より新事務所(富士市一色)へ移転を完了しました。新事務所の心理室の設備を購入しました。設備を購入させていただいたことで、心理室・心理的支援の充実が図られると共に、利用者にとって安心のできるスペースの確保が可能となりました。子ども達の抱えている心理的な課題のアセスメントとそれに対するアプローチの仕方についても、今まで以上に多様化が期待できます。利用者からの反応も好評を得ています。

また、3月12日に園域の里親家庭に向けた内覧会を実施しました。市内の児童養護施設の里親支援専門相談員も含め、設備の説明と今後の支援に向け意見交換を行いました。

社会福祉法人 誠信会
誠信会児童家庭支援センター パラソル

2015年度支援事業内容

テーマ	主催団体
作文集「しあわせな明日を信じて3」の6年後のたよりの追跡調査(続々編) 乳児院・児童養護施設の子どもたち～子どもたちの声を“かたち”に～	特定非営利活動法人 こどもサポートネットあいち
ふじ虹の会 IFCAセミナー	ふじ虹の会
心理的な課題を持つ子どもに対する支援の充実	社会福祉法人 誠信会 誠信会児童家庭支援センター パラソル
Challenge Forever in Hawaii	特定非営利活動法人 Save the Beach
アスリートX'masサンタプロジェクト	一般社団法人 ATHLETE SAVE JAPAN
子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー	子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会
坂梨ホーム“食”でつなぐ“職”	社会福祉法人 一粒会 自立援助ホーム 坂梨ホーム
社会的養護の将来像実現施策策定と一部施策実施	公益財団法人 全国里親会
無料塾(学習支援事業)	社会福祉法人 同胞援護婦人連盟

寄付のお願い

当財団は、皆さまからの寄付金を財源として運営されています。

活動と事業内容にご賛同いただき、ご支援くださいますようお願いいたします。

寄付方法は3種類からお選びいただけます。（当財団への寄付は寄付金控除の対象となります）



オンライン決済

で寄付する

オンライン上でクレジット決済をご利用いただけます。「1回の寄付」と「毎月決済」をお選びいただけます。

ホームページよりクレジットカードでご利用いただけます。



振込

で寄付をする

お振込での寄付は1,000円より承ります。

ゆうちょ銀行

〇一九(ゼロイチキュウ)店
当座0338402
ザイ)ラクテンミライノツバサ

三菱東京UFJ銀行

堀留支店 普通0049410
公益財団法人 楽天未来のつばさ



はがき

で寄付をする

書き損じ・未使用の年賀状、未使用はがきでのご寄付を承ります。
(はがきは寄付金控除の対象外です)

送り先

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町16-5
新日本橋長岡ビル4階
楽天 未来のつばさ
書き損じはがき係



ホームページをぜひご覧ください



公益財団法人 楽天 未来のつばさ

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からのメッセージをご紹介しています。

楽天未来のつばさ

検索

<http://mirainotsubasa.or.jp/>



公益財団法人
楽天 未来のつばさ

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 新日本橋長岡ビル4階
電話:03-5642-7890 FAX:03-3249-7870
E-mail:info@mirainotsubasa.or.jp